

カウンセリングⅡ	単位数	履修方法	配当年次
	1	S	1 年以上
科目コード	FG2683	担当教員	中村 恵子

■スクーリングで学んでほしいこと

カウンセリングの目的は、問題解決にあります。カウンセラーは、質問とあいづちによって面接の流れをコントロールし、問題解決をマネジメントします。本講義では、基本的なあいづち技法と問題の本質にフォーカスする問題焦点化技法を学び、面接援助の土台づくりを目指します。

■到達目標

- 1) 基本的あいづち技法を会話に活用できる。
- 2) 問題焦点化技法を説明できる。
- 3) 問題焦点化技法を使うことができる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの意義と役割	方法論開発の歴史と背景
2	基本的傾聴技法	あいづち技法の解説と演習
3	基本的介入技法	問題解決技法の解説と演習
4	集団援助技法	対人関係ゲーム理論
5	心理的侵入度の調整	対人関係ゲーム演習
6	問題焦点化技法の理論と方法	基礎技法の解説
7	問題焦点化技法の演習	基礎技法の演習
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義と演習を中心にグループで学習を進めます。

■スクーリング 評価基準

授業への参加態度30% + スクーリング試験70% (持込可, 論述式)

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

授業で提示される参考図書を学習してください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」「根拠に基づく情報発信力」「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力」「自己理解に基づくセルフコントロール力」「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。